



# 衆議院議員・経済産業大臣政務官 大串まさきの国政報告

free

兵庫六区  
(伊丹・宝塚・川西)  
で配布中!

特集

## 経済産業大臣政務官 の仕事

バックナンバー配信中 **ガソロック**  
<http://www.m-ogushi.com/archive.html>

VOL. **14**

## お知らせ

### ▶ 党員募集のご案内

みなさんも自民党に入党して、党員としていっしょに自民党を支えてみませんか？ 入党資格は、わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方、満 18 歳以上で日本国籍を有する方、他の政党の党籍を持たない方です。

党費は年額 4,000 円（家族党員は 2,000 円）です。詳しくは自民党兵庫六区支部（072-773-7601）まで、ご連絡下さい。

### 大串まさき プロフィール

- ▶ 昭和 41 年、兵庫県生まれ。
- ▶ 報徳学園高校卒（74 回）、東北大学卒、同大学院修了（工学修士）。IHI（株）、松下政経塾を経て北陸先端科学技術大学院大学修了（博士）。西武文理大学准教授等を歴任。
- ▶ 平成 23 年 3 月、公募により自由民主党 兵庫県第六選挙区（伊丹市・宝塚市・川西市）支部長に就任。
- ▶ 平成 24 年 12 月、第 46 回衆議院総選挙にて初当選。以降、第 47 回（平成 26 年）、第 48 回（平成 29 年）総選挙にて連続当選。現在 3 期目。
- ▶ 厚生労働副部長、文部科学副部長、国会対策副委員長などを経て、平成 29 年 4 月、第 3 次安倍第 2 次改造内閣にて経済産業大臣政務官就任。
- ▶ 平成 29 年 11 月、第 4 次安倍内閣にて経済産業大臣政務官再任。産業・通商政策・資源エネルギー政策・中小企業政策などに注力し活躍中。

自由民主党兵庫県第六選挙区支部ニューズレター 第 14 号（H30 年 1 月 1 日号）

頒布責任者

自由民主党兵庫県第六選挙区支部長 大串まさき  
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコワー 2-12

印刷者

株式会社プリントバック  
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

## III 大串まさきの国政報告

### 三期目のスタート

#### 経済産業大臣政務官にも再任

#### ▶ 第 48 回総選挙にて再選

平成 29 年 10 月 22 日、第 48 回総選挙にて、地元兵庫六区から 93,622 票の御支持を頂き、3 回目の当選を果たさせていただきました。兵庫六区から衆議院の小選挙区で 3 期連続当選は初めてのことで、引き続き地域の代表として国会での仕事を務めさせていただきます。

依然として、国内外には課題が山積しています。経済再生も道半ばでありますし、国際情勢はますます緊張を増しています。様々な改革を押し進めながら、強い日本をつくって参ります。



### ▶ 経済産業大臣政務官として活動中

総選挙後の第 4 次安倍内閣にて、経済産業大臣政務官に再任しました。4 月の就任に続いて 8 月の改造内閣においても留任であったので、形式的には 3 期連続政務官として務めることになります。大臣と副大臣を支えながら、今後も緊張感を持って職責を果たして参ります。

既に、国際会議への出席や世界各国の要人との会談を通じて、我が国の経済発展に資するべく、その役割を果たしております。また、技術者としての経験を生かして、ものづくりの基盤となる産業を支援するため、国内外の生産現場の視察も精力的に行っております。

今後は、制度改革に関わる仕事にも積極的に関わって参ります。



8 月の改造内閣に続いて、第 4 次安倍内閣に於いても経済産業大臣政務官に再任。

## 経済産業大臣政務官の仕事

経済産業大臣政務官の仕事は多岐にわたります。大きな特徴は国際的な仕事が多くあることです。海外に行くと、我が国が経済大国であり、大きな期待が寄せられていることがよくわかります。国際会議の場で発言を求められたり、リーダーシップを期待されたりするのは当たり前。連日、海外の要人が政務官室を訪れ、会談を通じて、様々な意見や協力を求められています。

また、国内の課題も多岐にわたります。エネルギーの安定的な確保もさることながら、国内産業を育成して、強い国をつくっていくことも大切な仕事になります。



平成 29 年 6 月、北京で開催されたクリーンエネルギー大臣会合にて我が国の主張を述べました。

## 通商政策への取組

世界中の製造現場や先進的取り組みの実態を視察して、我が国との協力関係を築いたり、新しい考え方を取り込むことも大切な仕事です。米国出張の一例を紹介します。

### ●ボーイング社

シアトルにあるボーイング社のエバレット工場とレントン工場を訪問し、同社のジェンクス副社長と会談しました。航空機産業は米国の基幹産業といっても過言では無く、その中で、我が国も開発段階から製造に参加することで技術水準を高めて来ました。ファイナンス面での協力（NEXI の活用）を報告しつつ、次世代中小型機の開発にも参加できるように要請して参りました。



ジェンクス副社長自ら歓迎してくれました。

### ●世界経済フォーラム（WEF）第四次産業革命センター

サンフランシスコでは、第四次産業革命センター長のムラート・ソメズ氏と会談しました。WEF のプロジェクトである「生産システムの未来」についてお話を伺いました。今回の訪問で日米の覚え書きを取り交わし、今後の世界経済フォーラムとの連携・協力を約束して参りました。



ソメズ氏と今後の連携を約束しました。

## 国際会議へ参加

様々な国際会議へ参加して、国際的な責任を果たすことも仕事です。気候変動枠組条約締約国会議 COP23 と同時にドイツで開催された二つの会議を紹介します。

### ●水素協議会

平成 29 年 11 月ドイツのボンで開催された、水素関連技術の普及に向けた民間トップによるグローバルな活動団体「水素協議会」の CEO 級会合に出席しました。この分野では、トヨタ自動車の FCV（燃料電池自動車）をはじめ我が国が得意とする分野で発言にも注目が集まります。会合では我が国の水素エネルギー利用の現状や課題について報告をしました。



独・仏の政府高官と共に発言しました。

### ●ICEF (Innovation for Cool Earth Forum)

アイセフは安倍総理の提唱で気候変動問題の解決に向けた、産学官のリーダーが議論するプラットフォームです。その成果報告会の場で、日本政府を代表して、ご挨拶を申し上げます。エネルギー・環境分野のイノベーションによって、地球温暖化問題の解決へ貢献して参ります。



日本政府を代表してご挨拶しました。

## 国内課題への対応

国内課題にも対応しています。産業の育成や問題解決など所掌範囲が広いので様々な課題があります。自動車産業と福島第一原発の視察の様子を紹介します。

### ●自動車産業

自動車は我が国の経済にとって、もっとも重要な産業の一つといえます。高い技術水準は世界にも認められているところです。一方で、地球環境への配慮もあり、EV（電気自動車）化の波が押し寄せています。世界の潮流に遅れることなく、技術を後押しする税制改革や政策を打ち出して行かなければなりません。



豊田社長と視察（於：東京モーターショー）。

### ●福島第一原発（F1）視察

もっとも重たい課題が福島第一原発の廃炉・汚染水対策です。今後も 30～40 年以上を要する前例の無い取り組みですが、国としても、前面に立って対策を進めて参ります。作業環境も改善して、防護服無しで視察が可能なエリアが増えています。今後も現場をしっかりと見て、進捗を注視して参ります。



左は F1 担当の武藤経済産業副大臣です。